

2021年 第2号

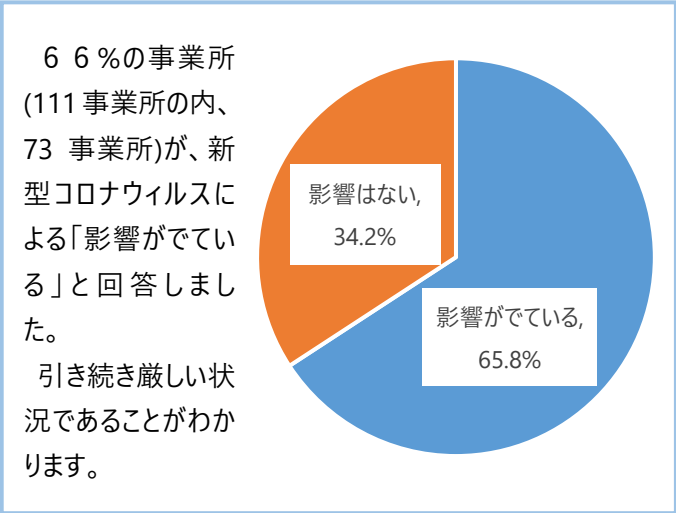
本レポートは、経済産業大臣の認定を受けた経営発達支援計画に基づき作成・発行いたします。

令和3年7月に、大野町内の事業所を対象に実施した、『新型コロナウイルスとアフターコロナ』のアンケートにつきまして、111の事業所にご回答いただきました。

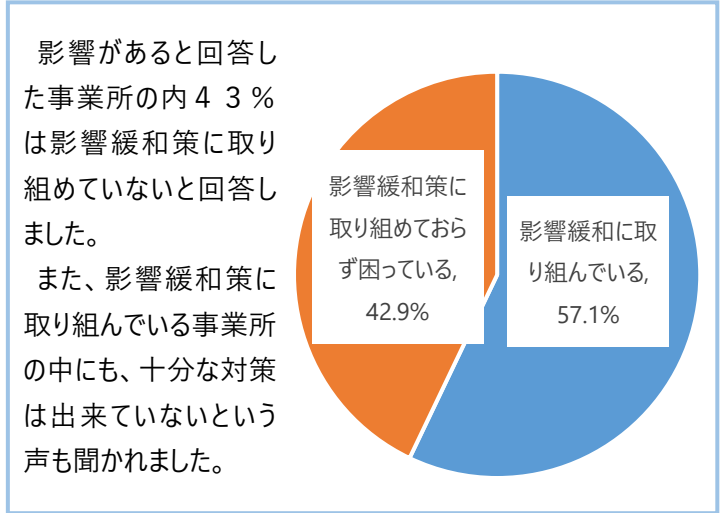
今回は、この集計結果（前半）についてご報告します。

**大野町商工会**  
<https://www.gifushoko.or.jp/oono/>  
**TEL 0585-32-0667**  
**FAX 0585-34-3370**

## ①新型コロナウイルスの影響

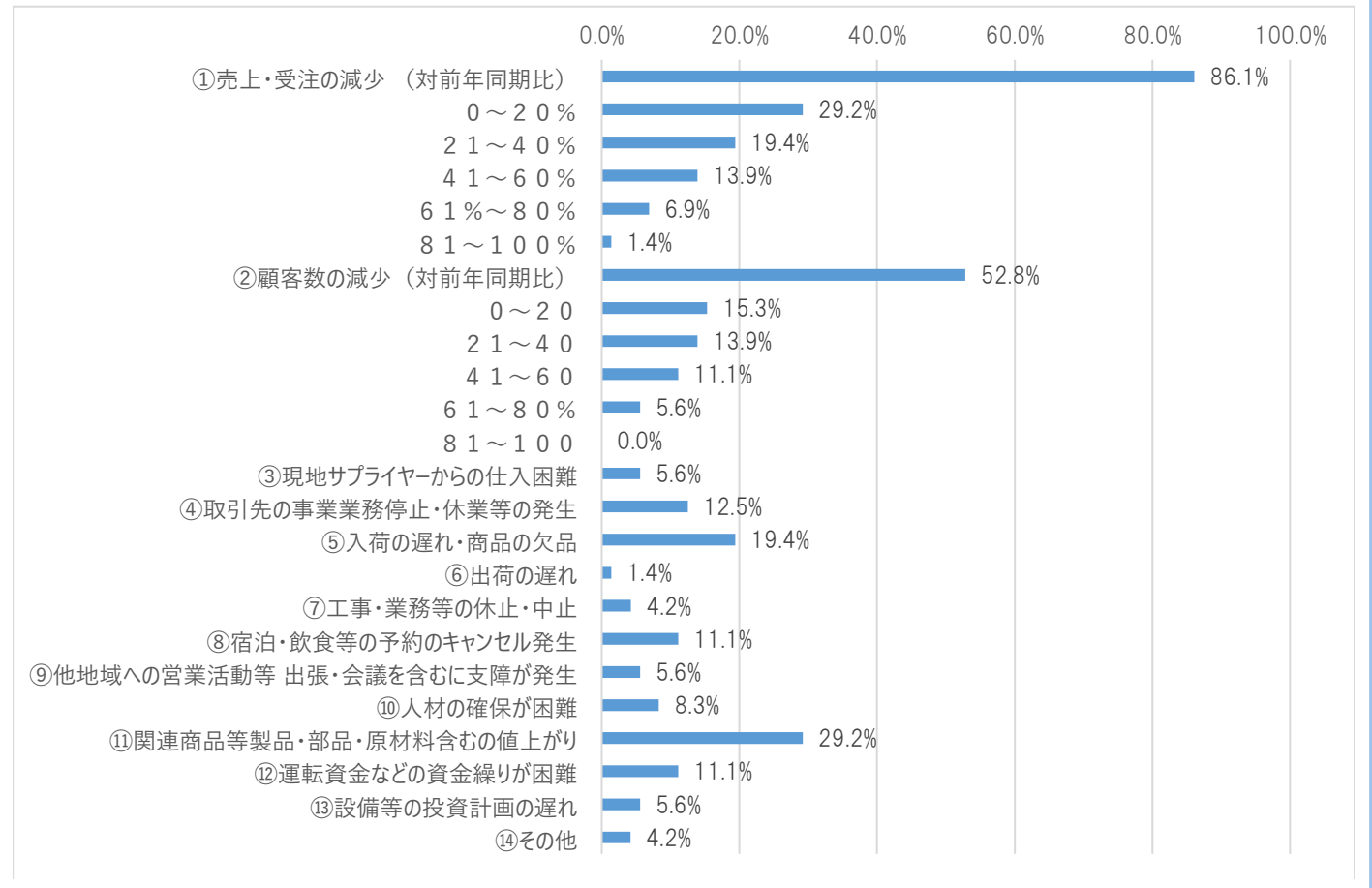


## ②影響緩和策に取り組んでいるか



## ③具体的にどのような影響がでているのか

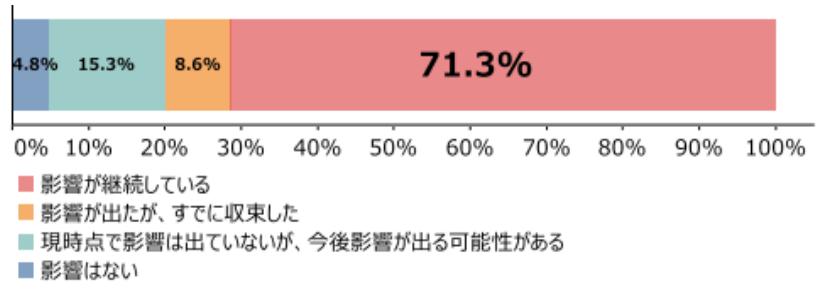
影響の内容としては、「①売上・受注の減少」を挙げた事業所が最も多くあり、次いで「②顧客数の減少」でした。「⑭その他」の中には、イベントの減少により、間接的に売上減少につながっているとの声も聞かれました。



◆新型コロナウイルス感染症による企業活動への影響

影響を受けていると答えた企業は大野町とほぼ変わらず、約70%でした。多くの企業が引き続き厳しい状況にあることがわかります。

また、「現時点で影響は出ていないが、今後出る可能性がある」が次いで多く、長期化するコロナウイルス感染症に対し、影響を不安視していることがわかります。

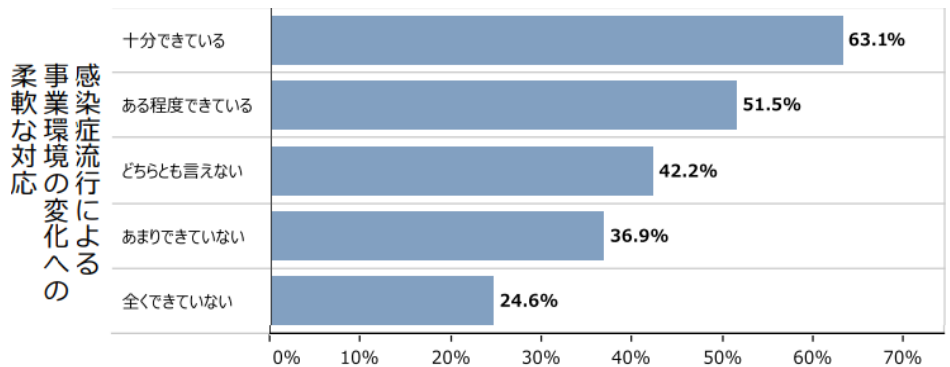


資料：(株)東京商工リサーチ「第14回新型コロナウイルスに関するアンケート調査」(2021年3月)

◆感染症流行による事業環境変化への対応状況別に見た、売上高回復企業の割合

新型コロナウイルス感染症流行下においても、事業環境の変化に合わせて、新製品の開発や新事業分野への進出など、柔軟な対応ができていない企業ほど回復が早いことがわかります。

今回の変化を転機と捉え、顧客ニーズや自社の強みに着目し、事業を見直したという事業者もありました。



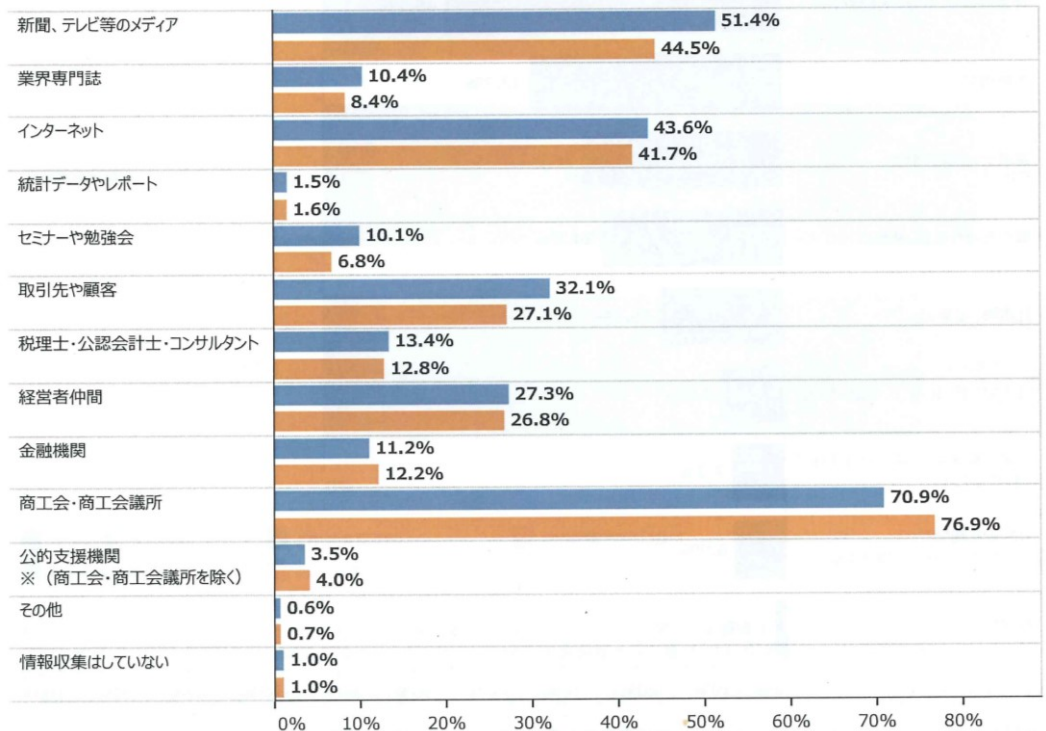
(注)売上高回復企業とは、感染症流行後、4月から9月に最も売上高が落ち込んだ企業のうち、10-12月の売上高が中央値を上回る企業のことを指す。

▶感染症流行前後の情報収集ルート

右のグラフは、小規模事業者が「日常的に情報を収集するルート」と「感染症流行後に有効であった情報収集ルート」が示されています。

これを見ると、日常的な情報収集先として、「商工会・商工会議所」が最も多く挙げられています。

また、感染症流行後においても有効な情報収集ルートであったことがわかります。



ぜひお気軽に、大野町商工会までご相談ください。  
(TEL:0585-32-0667)

■ 日常的に情報を収集するルート ■ 感染症流行後に有効であった情報収集ルート

[出典：小規模企業白書 2021 ※三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング(株)「小規模事業者の環境変化への対応に関する調査」]